

(キトリ)

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KAASP-010	製品名	ドットライトスピーカー
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：半年間
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		
	電話番号		

店舗印

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入（もしくは押印）してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外となります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意（使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど）による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合
 - 火災・地震その他の大災事象による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
 - 正規販売ルート以外で購入した場合
- レンタルなどによる貸出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

発売元 **ライソン株式会社**
〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

WEBからの修理・交換のお問い合わせはこちら



お客様サービスセンター TEL **06-6789-1199**
〔月～金（祝日除く）10時～16時〕

(キトリ)

LITHON

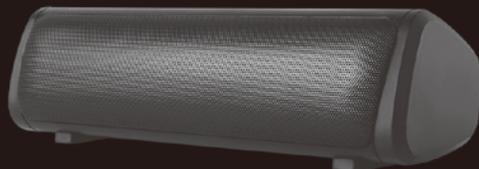
日本国内専用

ドットライトスピーカー

取扱説明書

もくじ

- 安全にお使いいただくために …… P.2
- セット内容・各部名称 …… P.3
- 充電方法 …… P.4
- 使用方法①
接続方法・音楽再生・通話について …… P.5～7
- 使用方法② 2台のスピーカー同士を
Bluetooth接続してステレオで聴く（TWS） …… P.8
- 使用方法③
ライトモードについて …… P.9
- 故障かな？と思ったら …… P.10
- テクニカルデータ …… P.11
- 保証書 …… P.12



Bluetooth®

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, INC.が所有する登録商標であり、ライソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

※本機はBluetooth®対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。機器によっては使用できない場合もございます。ご了承ください。

検索デバイス名 **LITHON SP-010**

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

●この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただけますようお願いいたします。

警告

下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音が生じたら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがある時は、USB充電ケーブルをパソコンなどから抜いてください。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

注意

下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本機を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 使用温度範囲を超える場所や多湿・直射日光のあたる場所での使用・保管をしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本機は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 内蔵バッテリーは繰り返し充電により消耗します。交換はできません。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書の指示に従ってください。本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
- 充電中は本製品の周囲に物を置かないでください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子供や乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

Bluetoothについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
- ◎本機を分解・改造すること ◎本機に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本機は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

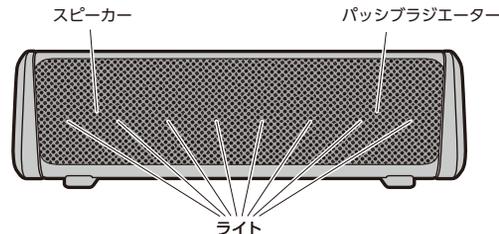
- ①本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ②万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

- 本機の通信距離は最大約10mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作しない時があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

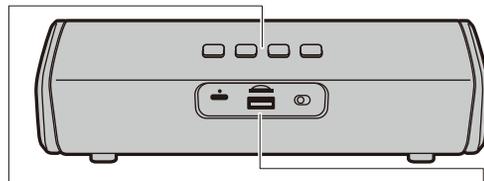
セット内容・各部名称

本体

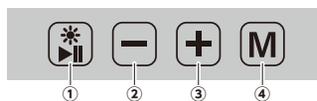
< 正面 >



< 背面 >



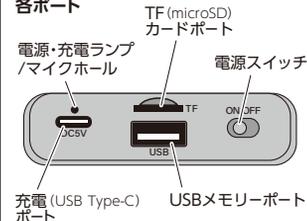
操作ボタン(本体の上部 正面から見た場合)



- ① **再生/一時停止** ボタン
●再生/一時停止
●ライトモード切り替え(長押し)
●通話/終話 ●発信(2回押し)
- ② **戻る** ボタン
●戻る / 曲戻し
●音量ダウン(長押し)
- ③ **+** ボタン
●曲送り
●音量アップ(長押し)
- ④ **M** ボタン
●モード切り替え
●TWWS接続/解除(長押し)

※ **M** ボタン 2 回押しで Bluetooth 接続解除

各ポート



USB充電ケーブル

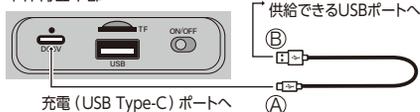


充電方法



- ・充電には付属のUSB充電ケーブル以外を使用しないでください。
 - ・初めて本機を使用するときは、完全に充電をおこなってください。
 - ・USBハブを使用して充電をおこなった場合は、正常に充電されないことがあります。
- 必ずUSBアダプターやパソコン本体のUSBポートなど、しっかりと電源を供給できる環境で充電をおこなってください。

本体背面下部



■充電方法

お手持ちのUSBアダプターやパソコン本機のUSBポートに付属のUSB充電ケーブル(Ⓑ)を接続し、もう片方(Ⓐ)を本機の充電(USB Type-C)ポートに差し込みます。電源・充電ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると消灯します。



電池残量が空の時に充電すると、完了するまで約2時間かかります。

上記の時間が経過したら、USB充電ケーブルを取り外してください。過充電はおやめください。



充電中の使用について

本機を充電しながら使用しないでください。電池の劣化を促進させたり、電池破損の原因になります。



使用中、電池残量が少なくなると音が途切れて知らせる音が鳴りますので、充電してください。

使用方法 ① 接続方法・音楽再生・通話について

基本操作

- 電源ON 本機の電源をONにすると音が流れ、電源・充電ランプが青く点滅し始めます。
- 電源OFF 本機の電源をOFFにすると、電源・充電ランプが消灯します。

各モードでの音楽再生

■Bluetoothモード

本機をBluetoothモードで使用するには、ご使用になる機器とペアリング(初期登録する作業)をおこなう必要があります。

(1)電源をON

電源を入れて、音が鳴った後スタンバイ状態になり、ペアリングできる状態になります。(この時、電源・充電ランプが青の速い点滅をしています。)

(2)お手持ちの機器とペアリング

ペアリングしたい機器から本機を検索します。検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。

(3)デバイス名「LITHON SP-010」を選択して登録

ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「LITHON SP-010」が検索画面上に表示されるので、選択して登録します。ペアリングが成功すると音が鳴ります。これで登録は完了です。(この時、電源・充電ランプが青の速い点滅から青の点灯に変わります。)

機器によってはペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

1度ペアリングをすると、以降は自動的に接続されます。

※ご使用の機器や設定によっては自動的に接続されない場合もあります。

(4)音楽を再生

ペアリングした機器を操作、もしくは本体の(Ⓜ)ボタンを押して、音楽を再生するとスピーカーから音が流れます。(+)ボタンで曲送り、(-)ボタンで頭出し/曲戻しができます。

※ペアリングする機器によって、曲送り(頭出し/曲戻し)できないものもあります。ご了承ください。

各モードでの音楽再生(つづき)

■TF(microSD)カードモード

(1)microSDカードを挿入

本機の電源をONの状態、microSDカードをTF(microSD)カードポートに差し込みます。microSDカードの向きに注意してください。端子面が下向きです。【図1】

(2)音楽を流す

本機のボタンで再生/一時停止・曲送り・曲戻し・音量アップ・音量ダウンの操作をおこなってください。

※再生できるのはMP3形式の音楽データファイルです。

※本機の電池残量が少ない場合、読み込まないことがありますので充電してください。

【図1】
本体背面各ポート



端子面が
下向き

■USBメモリーモード

(1)USBメモリーを挿入

本機の電源をONの状態、USBメモリーをUSBメモリーポートに差し込みます。【図2】

(2)音楽を流す

本機のボタンで再生/一時停止・曲送り・曲戻し・音量アップ・音量ダウンの操作をおこなってください。

※再生できるのはMP3形式の音楽データファイルです。

※本機の電池残量が少ない場合、読み込まないことがありますので充電してください。

※USBメモリー以外のUSBデバイスを挿入しないでください。故障の原因となります。

【図2】
本体背面各ポート



モード切り替え

USBメモリー・microSDカード挿入時やBluetoothで接続した機器と複数の機器をご使用の場合、**(M)** ボタン(モード切り替え)で再生する機器を切り替えられます。

●Bluetoothモード、USBメモリーモード、TF(microSD)カードモードの3種から選択できます。

※USBメモリー・microSDカードが差し込まれていない場合は、それぞれ選択することはできません。

音量について

●**(+)** ボタンを長押しで音量アップ、**(-)** ボタンを長押しで音量ダウンすることができます。

●音量が最大に達すると知らせる音が鳴り、それ以上音量は上がりません。

●音量が最小に達すると消音になります。

※接続しているプレーヤー本体の音量調節は、プレーヤー側でおこなってください。

通話について

本機を使ってハンズフリーで通話をすることができます。

(あらかじめ本機とご使用の電話をペアリングしてください)

<着信の場合> 着信があった場合、着信音が流れます。本機の**(S)** ボタンを押すと電話にすることができます。もう一度押すと通話を切ります。

<発信の場合> 本機の**(S)** ボタンを2回連続して押すと、直前に着信もしくは発信した相手に電話をかけることができます。

●通話機能が使えるのはBluetooth接続時に限ります。

●通話をする際、双方ともBluetooth機器で通話をすると雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。

●ご使用の機器によっては、本機の操作での発信・着信した電話に出ることができない場合があります。その場合は、ペアリングした機器を操作してください。また、アプリを利用した通話はできない場合があります。

使用方法② 2台のスピーカー同士をBluetooth接続してステレオで聴く (TWS)

本機をもう1台購入して2台お持ちになると、スピーカー同士をワイヤレスで接続するTWS(トゥルーワイヤレスステレオ)スピーカーとして使用でき、音楽をより広い空間で楽しむことができます。



①スピーカーと接続したい機器のペアリング方法

先に音楽を流したいBluetooth対応機器に接続してからスピーカー同士を接続します。

(1)デバイス名[LITHON SP-010]を選択して登録

ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「LITHON SP-010」が検索画面に表示されるので、選択して登録します。ペアリングが成功すると音声が届きます。親機のスピーカーとペアリングされた状態になります。

機器によってはペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。
お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

1度ペアリングをすると、以降は自動的に接続されます。

※ご使用の機器や設定によっては自動的に接続されない場合もあります。

②スピーカー同士をペアリングしてステレオで再生

(1)2台目(子機)のスピーカーの電源をON

2台目のスピーカーの電源を入れます。音が鳴った後スタンバイ状態になり、ペアリングできる状態になります。

(この時、電源ランプは青の速い点滅をしています。)

(2)スピーカー同士をペアリング

Bluetooth機器とペアリングしたスピーカーの[M]ボタンを長押しします。ペアリング開始の音が鳴り、もう片方のスピーカーが受信してペアリングが完了します。

※2台目のスピーカーが子機となり、初めにBluetooth機器と接続した親機のスピーカーとペアリングされた状態になります。

※一度TWSをペアリングしたスピーカーは、どちらの[M]ボタンを長押ししても再度ペアリングが可能です。(この時、電源・充電ランプは、親機が青の点灯、子機は青の速い点滅から青の点灯に変わります。)

(3)音楽を再生

ペアリングした機器を操作、もしくは本体の[▶]ボタンを押して、音楽を再生すると両方のスピーカーからステレオで音が流れます。[▶]ボタンで曲送り、[◀]ボタンで頭出し/曲戻しができます。

親機と子機は連動しているため、どちらのスピーカーからでも同じ操作をおこなえます。

※ペアリングする機器によって、曲送り(頭出し/曲戻し)できないものもあります。ご了承ください。(音楽を再生すると、電源・充電ランプは、親機、子機共に青の遅い点滅に変わります。)

③スピーカー同士のペアリング解除方法

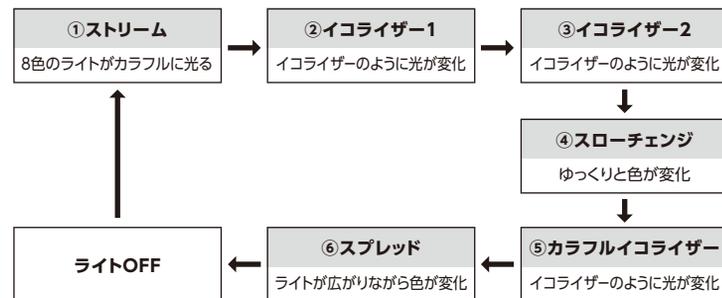
2台同時接続での使用中に1台のスピーカーから音を出したい場合、どちらか片方の[M]ボタンを長押しすると、スピーカー同士のペアリングが解除されます。

(この時、電源・充電ランプは、親機が青の遅い点滅から青の点灯に変わり、子機は青の遅い点滅から青の速い点滅に変わります。)

もう一度[M]ボタンを長押しすると再度スピーカー同士がペアリングされ、TWS(トゥルーワイヤレスステレオ)スピーカーとして音楽を聴くことができます。

使用方法③ ライトモードについて

本機には光り方が違う6種類のライトモードがあります。



- (1) 電源をONにして[▶]ボタンを長押しするとライトが光ります。
- (2) [▶]ボタンを長押しするたびに、上図の順でライトモードが変わります。
- (3) 各ライトモードについて

①「ストリーム」

カラフルなライトが、なめらかに変化します。

②「イコライザー1」

音源に合わせて、ライトがイコライザー風に中央から左右に伸びて変化します。待機中はライトの色が変わりながら、ゆっくり中央から左右に伸びて光ります。

③「イコライザー2」

音源に合わせて、ライトがイコライザー風に左から伸びて変化します。待機中はライトの色が変わりながら、左端のみ光ります。

④「スローチェンジ」

ライトがゆっくり点滅しながら色が変わります。

⑤「カラフルイコライザー」

音源に合わせて、カラフルなライトがイコライザー風に左から伸びて変化します。待機中はライトの色が変わりながら、左端のみ光ります。

⑥「スプレッド」

ライトが中央から左右に広がって移動しながら色が変わります。待機中は、移動が緩やかになります。

●映像の音声が遅れて聞こえる

・Bluetoothの特性上、映像に対して音声が多少遅れて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

●音量が小さい

・接続機器側の音量を確認してください。使用環境によっては音量が小さく出力される場合がございます。

●本機の電源が入らない

・本機が充電されているかどうか、確認してください。

●ペアリングができない

・接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般にスマートフォンやパソコンなど接続する側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する機器の設定を確認してください。
・別の機器とペアリングされている可能性があります。接続を解除してからお試しください。

●他の機器との利用後、ペアリングが必要になった

・ご使用のスマートフォンやパソコン等とのペアリング後、他の機器と接続する場合に再度ペアリングが必要になることがあります。

●接続後に本機がきちんと動作しない

・本機および接続したスマートフォンやパソコン等の機器が、該当するBluetooth機能を搭載しているか確認してください。(Bluetoothのバージョンや対応しているプロファイルなど)

●電源を入れたのに自動的に再接続されない

・ご使用の機器によっては、ペアリングが完了後、「接続」が必要となる場合があります。詳しくはご使用の機器の取扱説明書をご参照ください。

●いつも再接続していたのに突然再接続されなくなった

・スマートフォンやパソコン等の接続する機器によっては繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続できなくなることがあります。本機および接続機器の電源を入れ直すか、再度ペアリングをおこなってください。

●ノイズやエコー音が入る

・ペアリングの機器との距離を変えてみてください。

●スマートフォン等で動画音声が聴こえない

・スマートフォン等の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオなどの音声がBluetoothでは視聴できません。また、デジタル著作権保護のため、本機では再生できない場合があります。

●BluetoothキーボードやBluetoothマウスなど、他のBluetooth機器を使用すると本機からの音声が途切れる

・Bluetooth機器の混信、ノイズにより稀に音声が途切れる場合があります。

●連続再生時間が短くなった

・バッテリーは消耗品です。使用とともに徐々に劣化していきます。

Bluetooth	
バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.5.3、class2
検索デバイス名	LITHON SP-010
伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP
対応コーデック	SBC
スピーカー	
型式	モノラルスピーカー パッシブラジエーター型
スピーカー口径	φ52mm
最大出力	5W
インピーダンス	3Ω
その他	
電源	DC 3.7V リチウムイオン電池 800mAh
充電時間	約2時間 ※充電機器により異なる場合があります
連続再生時間	約18時間 (ライトオフ時) ※使用状況・環境条件により異なる場合があります
使用温度範囲	5~35℃
対応フォーマット	MP3
対応メディア	USBメモリー、microSDカード・microSDHCカード (2~32GB)
外形寸法	約 W225 × D90 × H65 mm
質量	約 340g
付属	USB充電ケーブル

※ 通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※ 全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。ご使用の機器によっては接続できない場合があります。予めご了承ください。

※ 製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。



製品を廃棄するときはバッテリーのリサイクルにご協力ください。
本製品の本体には「リチウムイオンバッテリー」が使用されています。
資源を有効活用するため、廃棄するときは各地方自治体の廃棄物処理の指示に従って処理してください。